



豊平館個展会場での三岸好太郎 1932(昭和7)年

おかえり好太郎さん 豊平館へー95年目の個展ー

2026 4.25(土) ▶ 5.28(木)

開館時間 / 9:00~17:00(入館は16:30まで)
5月22日(金)は9:00~20:00(入館は19:30まで)
休館日 / 5月12日(火)

会場 重要文化財 豊平館 1階下の広間

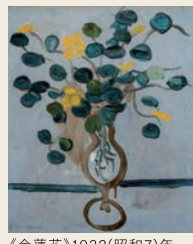
入館料 | 一般 350(300)円 / 高大生 150円 中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金 ※保育所、幼稚園、小中学校の引率者の方などは無料
※生活保護を受けている方、身体障がい者手帳や療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方(ミライID利用可)
およびその介護者(1名)などは無料(車椅子使用者の場合は2名まで)



《花ト蝶》1932(昭和7)年

三岸好太郎は1903(明治36)年、札幌生まれの画家。札幌第一中学校(現・札幌南高校)を卒業後上京して洋画家としてデビューし、脚光を浴びます。上京後も毎年のように札幌を訪れて作品を制作・発表し、友人や支援者にも恵まれ、札幌と深い絆をはぐくみました。とりわけ1932(昭和7)年には札幌に長期滞在して意欲的に活動し、その後の更なる飛躍を準備しました。そうした活動を象徴するのが同年に豊平館で開催された個展といえるでしょう。1880(明治13)年に開拓使によって建てられた豊平館は、



《金蓮花》1932(昭和7)年

1922(大正11)年に札幌市の所有になった後、1958(昭和33)年に中島公園に移築されるまでの間、街の芸術文化の拠点の一つでありました。

本展覧会では、北海道立三岸好太郎美術館の所蔵作品から、個展での出品作や札幌滞在にまつわる作品を中心に出品し、1932年の個展を一部再現。三岸と札幌の人々の情熱が交差した豊平館の姿をご覧いただけます。

主催：mima北海道立三岸好太郎美術館 共催：一般財団法人 北海道歴史文化財団
助成：公益財団法人 花王 芸術・科学財団 公益財団法人朝日新聞文化財団
後援：三岸好太郎美術館後援会

お問合せ 北海道立三岸好太郎美術館 TEL 011-644-8901 テレフォンサービス 011-621-7000

イベントのご案内

- アート・トーク「豊平館と芸術」** **要整理券**
 5/7(木) 18:30~(約60分) 会場：豊平館2階広間
 定員：椅子席 50名(先着順) **入館無料**
 講師：前川公美夫氏 (北海道文学館参与、元北海道新聞社編集委員)
 - 第234回 ミニ・リサイタル** **要整理券**
 5/16(土) 18:30~(約60分) 会場：豊平館2階広間
 定員：椅子席 50名(先着順) **入館無料**
 ※開催日一カ月前から電話・メール・三岸好太郎美術館への直接来館にて整理券の予約を受け付けます。
 ※当日受け取る整理券番号のシートに着席。定員に達し次第配布終了。
 - 街歩きツアー「好太郎の札幌を歩く すずきのと中島公園」**
 5/23(土) 9:30~13:30(予定) 定員：20名(先着順)
 講師：駒木定正氏 (建築史家、北海道職業能力開発大学校特別顧問)
- 上記三つの事業について、開催日一カ月前から電話・メール・三岸好太郎美術館への直接来館にて参加の申し込みを受け付けます。くわしくは募集チラシ、美術館ホームページ等をご覧ください。
TEL 011-644-8901 メール mizushi.11@pref.hokkaido.lg.jp

▶ **学芸員による展示解説** **要入館料** (自由参加イベント)
5/2(土) 14:00~(約30分) 会場：豊平館1階下の広間(展示会場)



重要文化財 豊平館



Access ●地下鉄南北線「中島公園」駅下車、3番出口より徒歩5分 ●地下鉄南北線「幌平橋」駅下車、1番出口より徒歩10分 ●市電「中島公園通」下車、徒歩5分 ●タクシー：札幌駅から約10分 ●一般駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。(身障者用駐車場はございます。2台駐車可。)